

越谷市総合振興計画審議会
都市基盤整備部会 第2回会議

次 第

日時：令和7年8月1日（金） 午後6時30分～

会場：越谷市役所エントランス棟 3-1会議室

- 1 開 会
- 2 議 事
部会報告書（案）について
- 3 その他
- 4 閉 会

令和 7 年（2025 年） 月 日

越谷市総合振興計画審議会

会 長 深井 晃 様

都市基盤整備部会

部会長 川島 衛

都市基盤整備部会審議結果について（報告）

都市基盤整備部会は、第 5 次越谷市総合振興計画後期基本計画（素案）第 3 章・分野別計画のうち、大綱 3「都市と自然が調和した集約と連携によるまちづくり」について、慎重に審議した結果、概ね妥当であると判断し、下記のとおり主な意見をまとめ、報告いたします。

また、当部会で出された意見につきまして、別紙一覧のとおり併せて報告いたします。

記

- 1 越谷市に住む人が、越谷に愛着をもち、定住意向が高まるよう、需要と利便性を満たした公共交通ネットワークを構築するとともに、市の魅力として P R に取り組むこと。
- 2 道路の整備に関しては、交通事故防止の観点から、必要な改修、改良を行い、交通事情に即した安全な道路環境の形成に努めること。
なお、指標の設定に当たっては、内容を丁寧に説明するよう努めること。

- 3 緑地については、公園・緑道など、市民の憩いの場である空間の整備に取り組むとともに、残されている緑地の保全を図ること。また、緑地を保全、有効活用するための先進的な手法について調査研究を行うこと。
- 4 近年、激甚化している水害において、内水氾濫が多く発生している地域があることを課題として認識すること。また、水害対策が進み、公共下水道等のインフラ施設が計画的に管理された「安心して住めるまち」をめざすこと。
さらには、水害対策も視野に入れた川のあるまち越谷におけるにぎわいづくりや水辺の利活用に努めるとともに、効果的な貯留施設の整備による水害対策の強化に取り組むこと。
- 5 高齢化や人口減少等の社会問題に対処するため、空き家対策や住宅セーフティネットの整備に取り組み、持続的で良好な居住環境づくりを推進すること。

以 上

項目順	大項目	中項目	頁	意見
1	3-1		69	市政世論調査での公共交通に係る満足度について、鉄道、バス、タクシーの平均値だけでは、個別の満足度が分かりづらくなるため、目標値以外の進ちよくも測るようにしてほしい。
2	3-1		69	公共交通の満足度については、パーソントリップ調査や国勢調査と整合を図りながら、進ちよく管理をしたほうがよい。
3	3-1	312	70	サンシティの整備方針に係る協議は丁寧に行っていると見受けられるので、指標を設定し、しっかりアピールしていくことが必要だと思う。
4	3-1	312	70	レイクタウンに新たな集客地を設けるよりは、流通団地内の越谷市場などへにぎわいをつくることが重要であると考えている。
5	3-1	314	71	せんげん台駅から市立病院へ向かい、南越谷駅に到着するような需要と利便性を満たしたバス路線が望ましい。これまでも社会実験等が行われてきたが、利便性が低く成果が上がらなかったと考えている。駅と駅を結び、病院等の拠点を通過するようなバスを検討してほしい。
6	3-1	314	71	バスを走らせるための道路が整っていない箇所が多くあるが、優先順位をつけて整備を進めてほしい。
7	3-1	314	71	めざす姿の「越谷に愛着を持って、定住意向が高まる」ための要素を作るために、固定化された路線のみでなく、新たに住民となる人からの意見を反映した路線を設定することで、定着につながると考える。さらに、その事も含めて市の魅力をPRすることが、魅力ある越谷市をつくる上で重要であると考えている。
8	3-2		72	「都市計画道路の完成率」および「都市計画道路などの整備進ちよく率」における「完成率」と「進ちよく率」の使い分けについて、脚注等で分かりやすく記載するとよい。
9	3-2	321	74	「幹線道路・生活道路の整備」について、平方地区の五差路など、交差点改良を行わないと交通安全上支障がある箇所が市内に複数あると思う。計画に交差点改良についても記載していくことが必要と考える。
10	3-2	321	74	平方地区の五差路を四差路にして、離れた箇所に交差点を設け、安全対策を行ってほしい。
11	3-2	321	74	平方の五差路については、分かりにくい構造であると思うので、分かりやすい道路を整備していく必要がある。近隣市町には、スクランブル交差点もあるため、検証しながら進めていただきたい。
12	3-2	321	74	五差路など危険な形状にならないよう、事前に右左折して、通常の交差点となるような形状が好ましい。交通量については、地域によって差があると思うので、交通事情に即した整備を行うよう提言する。

項目順	大項目	中項目	頁	意見
13	3-3	331	78	北越谷における元荒川の桜並木については、樹齢の関係から維持が難しいと聞いているが、桜以外の緑化などが可能であるならば進めてほしい。
14	3-3	333	79	79ページに生産緑地やパークPFIに関する記載を追加し、水と緑でつながるまちを総合振興計画上でも示すことができればよいと考える。生産緑地に関しては、人口減少や特例期間が終了すると減ってしまうことが想定されるため、緑の保全という観点から力を入れてほしい分野であると考えている。同様にパークPFIについても効果的な制度であると思うので検討いただきたい。
15	3-3	333	79	新方川や古利根川での緑道整備についても指標を追加してほしい。
16	3-4		80	めざす姿について、近年甚大な被害が生じている内水氾濫に関する記載をした方がよい。
17	3-4		80	めざす姿の説明について、八潮市の道路陥没などにみるように、インフラの管理が担保されていることが重要であると思う。「インフラが計画的に管理された安全安心なまち」という表現を加えるといい。
18	3-4		81	課題の中に、「内水氾濫が発生している地域がある」旨の記載を追加してほしい。
19	3-4		80	川のあるまち越谷において、川の駅構想によってにぎわいをつくりながら、水辺の防災も視野に入れ水害対策も兼ねることができればいいと考えている。また特産品の流通経路を確保することにもつながると思う。例として、吉川市のウナギやナマズなど、いい製品が越谷市で仕入れやすくし、盛り上げることができるという。シティプロモーションとも連携してほしい。
20	3-4	341	82	大吉調節地や西大袋調整池などは、治水対策に大きく貢献し、公園としても近隣住民の憩いの場にもなっていることから、ほかの場所でも整備を進めてほしい。
21	3-4	341	82	今後は地下貯留施設の整備について検討いただきたい。コンクリート式の地下貯留施設は費用負担も大きい、プラスチック製のものもあると聞いているため、参考にしてほしい。
22	3-4	341	82	全国的に豪雨が発生すると内水氾濫が発生し、特に児童生徒が危険にさらされてしまう。このため、幅員4メートル程度の道路であれば、市道と民地の境に砂利敷き区間を設けることで、民地側で貯水し、冠水を遅らせることができるのではないかな。
23	3-4	341	82	活動指標「雨水貯留施設の整備」について現状値が0箇所、目標値が1箇所としているが、複数箇所を整備していくということなので、目標値を増やしてほしい。
24	3-4	342	83	網目のように張り巡らされた公共下水道管をすべてチェックしてメンテナンスすることは難しいと思うが、安全のため、県の下水道管と接続する箇所などを重点的に対応してほしい。
25	3-5	351	86	人口減少に伴う空き家の利活用や用途変更、高齢化等の社会問題に対応するセーフティネット住宅など、持続的な居住環境づくりについてさらに力を入れて取り組んでほしい。

項目順	大項目	中項目	頁	意見
26	3-5	351	86	建築士会や建築事務所協会のほか、宅建協会や専門家として医師会などが連携できれば、住宅施策に関する事業の進展に寄与できると考えられるため、市を中心に検討していただきたい。
27	3-5	351	86	空き家を自治会のサロンとして使うような方法も考えられると思うので、空き家が使える用途を広げていくと、空き家の有効利用につながると思う。

都市基盤整備部会 意見一覧

資料 2

項目順	大項目	中項目	頁	意見	報告書（案）反映状況	会議録 頁
1	3-1		69	市政世論調査での公共交通に係る満足度について、鉄道、バス、タクシーの平均値だけでは、個別の満足度が分かりづらくなるため、目標値以外の進ちょくも測るようにしてほしい。	- 今後の施策に関するご意見として参考させていただきます。	2
2	3-1		69	公共交通の満足度については、パーソントリップ調査や国勢調査と整合を図りながら、進ちょく管理をしたほうがよい。	- 今後の施策に関するご意見として参考させていただきます。	2
3	3-1	312	70	サンシティの整備方針に係る協議は丁寧に行っていると見受けられるので、指標を設定し、しっかりアピールしていくことが必要だと思う。	- 計画書の表記方法についてのご意見として参考させていただきます。	3
4	3-1	312	70	レイクタウンに新たな集客地を設けるよりは、流通団地内の越谷市場などへにぎわいをつくるのが重要であると考えている。	- 今後の施策に関するご意見として参考させていただきます。	4
5	3-1	314	71	せんげん台駅から市立病院へ向かい、南越谷駅に到着するような需要と利便性を満たしたバス路線が望ましい。これまでも社会実験等が行われてきたが、利便性が低く成果が上がらなかったと考えている。駅と駅を結び、病院等の拠点を通過するようなバスを検討してほしい。	○ 意見 1	2
6	3-1	314	71	バスを走らせるための道路が整っていない箇所が多くあるが、優先順位をつけて整備を進めてほしい。	- 今後の施策に関するご意見として参考させていただきます。	3
7	3-1	314	71	めざす姿の「越谷に愛着を持って、定住意向が高まる」ための要素を作るために、固定化された路線のみでなく、新たに住民となる人からの意見を反映した路線を設定することで、定着につながると考える。さらに、その事も含めて市の魅力をPRすることが、魅力ある越谷市をつくる上で重要であると考えている。	○ 意見 1	3
8	3-2		72	「都市計画道路の完成率」および「都市計画道路などの整備進ちょく率」における「完成率」と「進ちょく率」の使い分けについて、脚注等で分かりやすく記載するとよい。	- 意見 2	3
9	3-2	321	74	「幹線道路・生活道路の整備」について、平方地区の五差路など、交差点改良を行わないと交通安全上支障がある箇所が市内に複数あると思う。計画に交差点改良についても記載していくことが必要と考える。	○ 意見 2 ※特定地域に対する意見ですが、市全体への意見として取り扱わせていただきます。	4
10	3-2	321	74	平方地区の五差路を四差路にして、離れた箇所に交差点を設け、安全対策を行ってほしい。	○ 意見 2 ※特定地域に対する意見ですが、市全体への意見として取り扱わせていただきます。	4
11	3-2	321	74	平方の五差路については、分かりにくい構造であると思うので、分かりやすい道路を整備していく必要がある。近隣市町には、スクランブル交差点もあるため、検証しながら進めていただきたい。	○ 意見 2 ※特定地域に対する意見ですが、市全体への意見として取り扱わせていただきます。	4

項目順	大項目	中項目	頁	意見	報告書（案）反映状況	会議録 頁
12	3-2	321	74	五差路など危険な形状にならないよう、事前に右左折して、通常の交差点となるような形状が好ましい。交通量については、地域によって差があると思うので、交通事情に即した整備を行うよう提言する。	○ 意見 2	4
13	3-3	331	78	北越谷における元荒川の桜並木については、樹齢の関係から維持が難しいと聞いているが、桜以外の緑化などが可能であるならば進めてほしい。	○ 意見 3	5
14	3-3	333	79	79ページに生産緑地やパークPFIに関する記載を追加し、水と緑でつながるまちを総合振興計画上でも示すことができればいいと考える。生産緑地に関しては、人口減少や特例期間が終了すると減ってしまうことが想定されるため、緑の保全という観点から力を入れてほしい分野であると考えている。同様にパークPFIについても効果的な制度であると思うので検討いただきたい。	○ 意見 3	5
15	3-3	333	79	新方川や古利根川での緑道整備についても指標を追加してほしい。	- 指標の内容についてのご意見として参考にさせていただきます。	5
16	3-4		80	めざす姿について、近年甚大な被害が生じている内水氾濫に関する記載をした方がよい。	○ 意見 4	2
17	3-4		80	めざす姿の説明について、八潮市の道路陥没などにみるように、インフラの管理が担保されていることが重要であると思う。「インフラが計画的に管理された安全安心なまち」という表現を加えるといい。	○ 意見 4	2
18	3-4		81	課題の中に、「内水氾濫が発生している地域がある」旨の記載を追加してほしい。	○ 意見 4	3
19	3-4		80	川のあるまち越谷において、川の駅構想によってにぎわいをつくりながら、水辺の防災も視野に入れ水害対策も兼ねることができればいいと考えている。また特産品の流通経路を確保することにもつながると思う。例として、吉川市のウナギやナマズなど、いい製品が越谷市で仕入れやすくし、盛り上げることができるといい。シティプロモーションとも連携してほしい。	○ 意見 4	4
20	3-4	341	82	大吉調節地や西大袋調整池などは、治水対策に大きく貢献し、公園としても近隣住民の憩いの場にもなっていることから、ほかの場所でも整備を進めてほしい。	○ 意見 4	5
21	3-4	341	82	今後は地下貯留施設の整備について検討いただきたい。コンクリート式の地下貯留施設は費用負担も大きい、プラスチック製のものもあると聞いているため、参考にしてほしい。	○ 意見 4	6
22	3-4	341	82	全国的に豪雨が発生すると内水氾濫が発生し、特に児童生徒が危険にさらされてしまう。このため、幅員4メートル程度の道路であれば、市道と民地の境に砂利敷き区間を設けることで、民地側で貯水し、冠水を遅らせることができるのではないか。	- 今後の施策に関するご意見として参考にさせていただきます。	6
23	3-4	341	82	活動指標「雨水貯留施設の整備」について現状値が0箇所、目標値が1箇所としているが、複数箇所を整備していくということなので、目標値を増やしてほしい。	- 指標の内容についてのご意見として参考にさせていただきます。	7

項目順	大項目	中項目	頁	意見	報告書（案）反映状況	会議録 頁
24	3-4	342	83	網目のように張り巡らされた公共下水道管をすべてチェックしてメンテナンスすることは難しいと思うが、安全のため、県の下水道管と接続する箇所などを重点的に対応してほしい。	○ 意見 4	7
25	3-5	351	86	人口減少に伴う空き家の利活用や用途変更、高齢化等の社会問題に対応するセーフティネット住宅など、持続的な居住環境づくりについてさらに力を入れて取り組んでほしい。	○ 意見 5	7
26	3-5	351	86	建築士会や建築事務所協会のほか、宅建協会や専門家として医師会などが連携できれば、住宅施策に関する事業の進展に寄与できると考えられるため、市を中心に検討していただきたい。	○ 意見 5	7
27	3-5	351	86	空き家を自治会のサロンとして使うような方法も考えられると思うので、空き家が使える用途を広げていくと、空き家の有効利用につながると思う。	○ 意見 5	7

部会における審議のポイント

部会報告書は、第4回会議（8月27日・全体会）で部会長に内容を報告していただいたのち、答申（案）に反映し、第5回会議（9月29日・全体会）において、答申（案）に関する意見をいただき内容を確認します。

審議していただく内容

- ①資料1 1～2ページ 部会報告書（案）に記載された意見が、部会第1回の意見（答申につながる意見）として端的に表現されているか。
- ②上記意見に対し、（追加・削除・表現を変更）する箇所があるか。

追加の例

水害対策が進み、公共下水道等のインフラ施設が計画的に管理された

「持続可能で安心して住めるまち」をめざすこと。

【理由】インフラ施設を適切に管理することで、将来世代に渡り持続可能なまちとなるため。

表現の変更の例

水害対策が~~進み~~、**を強化し**、公共下水道等のインフラ施設が計画的に管理された

「安心して住めるまち」をめざすこと。

【理由】「安心して住めるまち」となるためには、現状よりも水害対策を強化する必要があると考えられるため。

参考：答申（第5次総合振興計画前期基本計画）

令和2年（2020年）10月21日

越谷市長 高 橋 努 様

越谷市総合振興計画審議会
会 長 石 崎 一 宏

第5次越谷市総合振興計画前期基本計画（素案）について（答申）

令和2年6月23日付け、越政第59号をもって諮問のありました事項のうち、第5次越谷市総合振興計画前期基本計画（素案）について、別紙のとおり答申します。

答 申

本審議会において、第5次越谷市総合振興計画前期基本計画（素案）について、慎重に審議した結果、基本構想で示された本市の将来像を実現するための各分野における施策、まち・ひと・しごと創生法に基づく越谷市総合戦略、さらには、新たなまちづくりの視点として掲げる推進ビジョンなど、今後5年間のまちづくりの計画としては概ね妥当であると判断し、下記を付帯意見として添え、答申いたします。

なお、本審議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら審議を重ねてきましたが、審議を終えた時点でも、未だ新型コロナウイルスの終息は見えていません。各施策を推進するうえで、この感染症による影響は見通せない状況にありますが、付帯意見を踏まえ、今後5年間のまちづくりが推進されることを望みます。

また、本審議会で出された各委員の意見につきましては、今後、前期基本計画の策定を進めるにあたり、十分参考とされるよう望みます。

記

分野別計画

大綱1 多様な人が交流し、参加と協働により発展するまちづくり

- 1 市民と協働のまちづくりに関して、市民の参画をさらに進めるという視点に立ち、市民からの事業提案など、新たな協働の仕組みづくりに取り組むこと。

自治会の活性化に関して、自治会の魅力を高め、多くの市民の加入・参画を促進するため、時代の変化や社会の変容に則したあり方・運営方法を示すなど、自治会活動に対するさらなる支援に取り組むこと。

市政情報の提供に関して、市からの発信だけでなく、地域コミュニティ組織や市民活動団体などからの情報発信の支援に取り組むこと。

2 人権問題に関して、次世代を担う子どもの人権について明記し、その推進に取り組むこと。また、外国籍市民が増加するなか、国籍の違いにかかわらず市民どうしの相互理解を支援するなど、多文化共生の推進に取り組むこと。

3 行政のスマート化に関して、市民に身近な公共施設において通信環境の整備を推進するなど、市民の利便性向上に取り組むこと。また、行政手続きのオンライン申請等をより多くの市民が活用できるよう、利用方法の周知等に取り組むこと。

公共施設に関して、今後の人口減少社会に合わせた適正な施設の配置に取り組むこと。

財政状況が厳しいなか、多様な財源の確保に取り組むこと。

大綱 2 みんなが健康で共生して住み続けられるまちづくり

1 地域福祉体制の充実に関して、地域福祉の中心的な役割を担う民生委員・児童委員と自治会との連携強化など、住民相互の助け合い・支え合いのさらなる推進に取り組むこと。

2 子どもの居場所づくりに関して、特に小中学生などに対し、公共施設の柔軟な運用・管理体制を整備するなどして、身近に安心して過ごせる場所を提供し、子どもの自主性・創造性を育む環境の充実を図ること。

3 障がい者（児）が安心して暮らせる環境づくりに関して、障がいのある人もない人も、幼少期から互いにふれあう機会を創出するなど、障がいへの理解を深める取組みの充実を図ること。

4 高齢者の生きがいづくりに関して、認知症予防につながる趣味やボランティア活動に参加できる身近な居場所の整備に取り組むこと。

認知症の人にやさしい地域づくりに関して、認知症についての理解を深めるため、小中学生などに対しても積極的な啓発に取り組むこと。

高齢者の就業に関して、意欲ある高齢者が就業できるよう、支援策のさらなる充実を図ること。

大綱 3 都市と自然が調和した集約と連携によるまちづくり

- 1 定住促進に関して、市民の定住志向を高めるため、本市の充実した都市基盤施設や自然との調和、さらには本市が有する地域資源、といった魅力の積極的な情報発信とともに、新たな魅力の創出に取り組むこと。また、市民と協働して景観資源に対する愛着の向上に取り組むこと。

このような取組みにより、新規転入者の定住増加を図ること。

- 2 道路の整備に関して、慢性的な交通渋滞の解消を図るとともに、事故が多発する路線においては、事故防止に必要な整備・改修を行い、構造上の課題の解決に取り組むこと。また、都市計画道路の整備に関して、計画的な推進に取り組むこと。

歩道の整備に関して、道路照明灯の設置や無電柱化、バリアフリー化により、子どもから高齢者、障がい者など全ての歩行者が安全、安心、快適に通行できる環境の整備に取り組むこと。

- 3 緑化の推進に関して、子どもから高齢者まで多世代が集う公園に木陰をつくとともに、公園・緑道だけでなく、街路樹などの街なかの緑地を含めた一体的な緑地空間の整備に取り組むこと。

- 4 空き家等対策に関して、少子高齢化の進行に伴う空き家等の増加を想定し、高齢化社会に対応した的確な対策の推進に取り組むこと。

大綱 4 持続可能で災害に強い安全・安心なまちづくり

- 1 地球温暖化防止対策の推進に関して、基本計画の5か年という計画期間に鑑み、低炭素社会から脱炭素社会の構築へと段階的なまちづくりに取り組むこと。

- 2 災害対策の推進に関して、東日本大震災の経験と教訓が取り入れられた「仙台防災枠組2015－2030」を踏まえ、災害への備えについて強化を図るとともに、総合的な災害リスク管理に取り組むこと。

地域防災力の向上に関して、災害時に迅速かつ的確に対応するため、地域防災の拠点としての機能を担う地区センターの整備を含め、地域防災の担い手となる市民一人ひとりの防災意識の高揚を図ること。

消防団の充実に関して、若年層を含む市民に対し、地域消防の重要性について周知・啓発を図ること。また、消防団員が活動しやすい環境の整備に取り組むこと。

- 3 グリーンインフラストラクチャーの推進に関して、自然環境が有する多様な機能を活用し、防災・減災などの地域課題の解決や地域振興を図るため、グリーンインフラストラクチャーの趣旨に則したまちづくりに取り組むこと。

※「グリーンインフラストラクチャー」…自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方で、米国で発案された社会資本整備手法のこと。

大綱5 魅力ある資源を活かし、都市の活力を創造するまちづくり

- 1 首都近郊に位置する本市の農業に関して、さらなる地産地消の推進や農産物販路開拓のほか、加工品開発の支援など、農業経営の支援強化に取り組むこと。
また、本市の地理的特性に応じた農地の保全・活用に取り組むこと。

大綱6 みんなが主体的に学び、生きがいを持って活躍できるまちづくり

- 1 小中一貫型小中学校の整備に関して、対象校の拡充を含め、積極的な推進に取り組むこと。

幼児期から学齢期への移行に関して、情報技術の活用などにより教育の連続性を確保し、教育の底上げに取り組むこと。また、すべての子どもたちを虐待から守るため、情報技術を活用するなどして、継続的に子どもたちを見守る体制の整備に取り組むこと。

2 市民の生涯にわたる学びに関して、市の歴史資料を収集し、一括展示する施設の整備に取り組むこと。

3 スポーツ・レクリエーション活動の推進に関して、幅広い世代の市民に対し、スポーツ観戦機会の充実などによりスポーツに対する興味・関心を喚起し、地域と連携しながらスポーツ・レクリエーション活動に親しむ人口の増加を図ること。

市民の健康増進に関して、ウォーキングなどの生涯スポーツに取り組む機会のさらなる拡充を図ること。

スポーツ・レクリエーション活動を支援する環境の充実に関して、市民が安全、快適にスポーツ・レクリエーション活動に親しめるよう、体育施設の適正な維持・管理、必要に応じた改修に取り組むこと。

まち・ひと・しごと創生 越谷市総合戦略

1 持続性のある産業育成に関して、企業規模、業種、業態等に関わりなく、あらゆる産業に対する支援策の拡充に取り組むこと。

2 持続的に農業が行われる環境づくりに関して、食の安全性への関心や健康志向の社会的な高まりに鑑み、有機農業の導入支援など本市農業の高付加価値化に取り組むこと。

3 雇用対策に関して、新型コロナウイルスの感染拡大により、リモートワークなど職場と離れて居住しながら就労を可能とする新たな働き方が広まるなか、こうした働き方をする人たちに選ばれる都市となるための施策に取り組むこと。

4 少子化対策に関して、これから出産する人や出産を希望する人への支援策のさらなる拡充に取り組むこと。

以 上

越谷市総合振興計画審議会 都市基盤整備部会
第2回会議 出席職員名簿

役職名	氏名
政策課長	野 口 毅
道路総務課長	西 田 邦 彦
道路建設課長	厚 沢 光 男
河川課副課長	木 下 雅 之
下水道経営課長	山 本 剛
下水道事業課長	篠 崎 康 雄
維持管理課長	戸 張 勝 己
都市計画課長	戸 張 直 樹
公園緑地課長	佐 藤 亜 実
建築住宅課長	木 村 泰 司
政策課調整幹	倉 澤 壮 太
政策課副課長	黒 澤 素 直
政策課主任	大久保 雄 平
政策課主事	石 井 優 大